



徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

2016

徳島地域留学生交流推進協議会

目 次

○ 寄稿	
徳島県教育委員会	1
小松島市	3
阿南市	5
阿南市国際交流協会	7
○ 留学生への支援事業	8
○ 留学生交流事業	12
○ 徳島地域の外国人留学生受入れの現状	21
○ 留学生の声	
鳴門教育大学大学院学校教育科国際教育コース2年 華 明琳 (中国)	23
四国大学経営情報部経営情報学科3年 覃 静文 (中国)	24
四国大学文学部日本文学科3年 高 美琦 (中国)	25
徳島文理大学大学院総合政策学研究科総合政策学専攻1年 チン ボイ アン (ベトナム)	26
徳島工業短期大学自動車工業学科2年 ヴ チ ダイ (ベトナム)	27

○ 留学生の声

阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年
カエムラボット チュオ (カンボジア) 28

徳島大学総合科学教育部博士前期課程2年
肖 友 (中国) 29

徳島大学先端技術科学教育部博士後期課程2年
柳 振錫 (韓国) 30

徳島県教育委員会における国際交流

徳島県教育委員会

徳島県では、平成27年12月、知事と教育委員会が緊密に連携し、徳島の教育力を結集させ、創意工夫を凝らした教育を実践するため、「徳島教育大綱」を策定いたしました。大綱の推進期間は平成30年度までの4年間、基本方針は「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」です。

重点項目の一つに、「グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進」を掲げており、「ふるさと徳島」への誇りを胸に、多様な価値観への理解と国際的な視野を持ち、あふれる「新進の気質」で才能を磨き、世界を舞台に活躍するグローバルな人を育てることとしています。

その取組として、教育文化課においては、あわっ子文化大使（ふるさと徳島の文化と文化財について学び、大人になってからもその魅力を誇りと愛着をもって県内外で発信できる中学生）の活動があり、今年度は、徳島大学の留学生の協力を得て、阿波遍路道フィールドワーク等の取材をともに行い、英語版あわ文化（阿波人形浄瑠璃、阿波遍路道）リーフレットを作成し、それを活用した案内活動に取り組みました。



留学生を迎えてのあわっ子文化大使のフィールドワーク

また、学校教育課では、今年度から、「高校生・ジュニア観光ガイド養成講座」を開講し、徳島の文化や伝統に係る知識の吸収だけでなく、留学生やJICA研修生を招いての観光ガイドや、外国クルーズ客船の県内寄港時における観光・交通情報の提供などの実践的な実習も行い、また来県する外国人観光客に対し、SNSを通じ、徳島の魅力を英語で発信できる人材の育成に取り組んでいるところです。

本県には、お接待を通じた「おもてなしの心」に裏付けられたベートーヴェン第九アジア初演の地である板東俘虜収容所（跡）があり、昨年には、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、ドイツのホストタウン（参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体）としても登録されました。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される4年後には、様々な経験を通じ、多様な価値観を理解し、国際的な視野を身につけた児童生徒が、それぞれの立場で、外国からのアスリートや関係者、観光客を温かく迎えるとともに、徳島の魅力を世界に向けて積極的に発信することを期待しています。



クルーズ客船寄港時の「高校生ジュニア観光ガイド」受講生の活動

「かずらばし 2016」に寄せて

小松島市長 濱田 保徳

徳島地域留学生交流推進協議会会報「かずらばし 2016」の会報発行にあたり、心よりお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、徳島県内における外国人留学生の受け入れをはじめ、地域住民との交流を通じて相互の国際理解を深めるために日々、ご尽力いただいておりますことに対して、深く敬意を表します。

さて、私たちが心豊かな人生を送るためには、「自分らしさの発見」が大切であり、人との出会いや経験から得ることのできる広い視野で、自分らしさを見つけていくことが重要であります。

世界の人々と出会い、異なる文化に触れ、視野を広げる国際交流事業は、まさに、出会いと経験を通して私たちを成長させてくれる場であります。

本市においては、学校現場における外国語指導助手（ALT）が小中学校を巡回し、生の英語を通じてコミュニケーション能力の向上に努めております。

また、本年度は外国船籍の大型客船が本市に着岸した際、徳島大学の留学生に通訳・案内等をお願いし、海外からの観光客だけでなく、見物に訪れた市民の方々との交流も深めていただきました。

今後も、時代のニーズを捉えた地域の国際交流を推進し、相互理解及び友好の絆を深めてまいりたいと存じます。



ALTによる外国語活動

結びに、貴協議会の今後ますますのご発展と、皆様のご活躍を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

大型船寄港時における案内



阿南・モンゴル草の根の国際交流

阿南市長 岩浅 嘉仁

阿南市とモンゴルとの交流は、1991（平成3）年の旧那賀川町時代から始まります。モンゴルの少年がしたためた「モンゴルで野球がしたい」という一通の手紙からでした。これを知った那賀川町民有志らがいち早く立ち上がり全国に呼びかけたところ、4トントラック1杯分の野球道具が集まりモンゴルに寄贈しました。

以来、子どもたちのホームステイといった相互交流や広島アジア大会に出場するモンゴル青年野球チームの来町、そして全国から約1,300万円（当時のモンゴルでは13億円に当たる）の浄財が集められ、野球場を寄贈するまでに発展しました。現在もモンゴル国立野球場として立派に維持管理されています。



今、阿南市（那賀川町が合併により阿南市となる）は、産業部門に「野球のまち推進課」を設置し、地域で盛んな野球を活かしたまちづくりを行っています。そんな折、モンゴルとの野球交流を題材にした「モンゴル野球青春記」が製作されることになり、撮影地に阿南市が選ばれました。映画は多くの市民ボランティアの協力により2013（平成25）年に完成し、全国各地で上映されました。それは野球場建設後途絶えていたモンゴルとの草の根の野球による

国際交流が蘇った瞬間でもありました。

交流を通じて、言葉や文化の壁を越え、人と人、心と心の絆が深まります。そして、信頼が芽生え、友好が生まれます。国は違っても人の心の奥には共通の光があり、そこにこそ平和への扉を開く鍵があるのではないのでしょうか。



2020（平成32）年、平和の祭典といわれる東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。野球もオリンピック種目に復活します。25年前、那賀川町の有志たちが蒔いたモンゴル野球の種がやがて大きな花となって東京で開くことを願うとともに、徳島地域留学生交流推進協議会の発展を祈念申し上げ、「かずらばし 2016」に寄せる言葉といたします。



短期留学生との交流

阿南市国際交流協会

2016年9月23日から9月28日の期間に、オーストラリアからの留学生12名がやってきました。今回は5泊6日と少し短い阿南での生活となりました。

初日のホストファミリーとの対面式での自己紹介が終わると、緊張して顔を強張らせていた留学生たちと迎える側も、少しずつ笑顔へと変化していったのが印象的でした。土曜・日曜の2日間ホストファミリーと過ごした留学生たちは、月曜日の朝にはとても輝いた顔をしていました。

留学生たちは、県立富岡東高校での学校生活体験をすごく楽しめたとのことでした。また、ホストファミリーとの交流も楽しく出来たようで、別れ際にはいつかもう一度会おうと約束していました。

それぞれが良い交流経験ができたと言っていました。



○留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

	貸付金額	備考
貸付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(公財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は、(公財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成27年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額30,000円又は45,000円	徳島大学 11名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額30,000円又は45,000円	〃 26名	
徳島大学卒業生同窓会推薦留学生奨学金	月額100,000円	〃 2名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円又は100,000円	〃 4名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 2名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額500,000円	〃 2名	
日本国際教育支援協会(JEES)一般奨学金	月額30,000円	〃 1名	
ドコモ留学生奨学金	月額120,000円	〃 1名	
大塚敏美育英奨学財団	年額2,000,000円又は1,500,000円	〃 6名	
藤井国際奨学財団	月額50,000円	〃 2名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
上原記念生命科学財団	月額150,000円	〃 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額38,000円	鳴門教育大学 13名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額5,000円	〃 5名	
鳴門ゾンタクラブ外国人女子奨学金	年額200,000円	〃 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金奨学金	年額300,000円	四国大学 1名	
授業料免除	年額504,000円(1年生)	徳島工業短期大学 10名	60%免除
	年額616,000円(2年)	〃 5名	70%免除
徳島工業短期大学外国人留学生奨学金	月額20,000円(8月・3月を除く)	〃 10名	

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 日本文化・企業見学旅行 新入学留学生ガイダンス, 徳島東・西警察署による交通安全等オリエンテーション 徳島東・西消防署による防災訓練 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助, 渡日一時金の支給) 交換留学生への自転車の貸出
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金—火災・風水害の被害, 病気・事故による入院への支援, 自転車購入費用補助, JLPTの受験料補助 日本語補講(入門クラス, 初級クラス, 中級クラス, 上級クラス), 日本語能力試験対策講座 外国人留学生学外研修(日帰り)—文化施設訪問, 体験学習等 外国人留学生学外研修(1泊2日)—県外での日本文化体験等 日本文化体験—折り紙, 日本の歌, 染色, ちょんかけごま, 書道, 大正琴, 着付, 茶道 外国人留学生新入生オリエンテーション 鳴門警察署による交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動, 各種奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島文理大学・ 徳島文理大学短期大学部	新規入学者に対する徳島県内文化研修実施(年2回) 外部講師による留学生に対する日本語授業, 日本語能力試験対策講座(週2回)
徳島工業短期大学	生活用品(冷蔵庫, 洗濯機, 自転車)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給 日本語能力試験N1,N2合格時に一時金支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講 留学生に対する生活必需品購入指導 留学生(短期留学生)に対する英会話指導

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
(公財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 多言語情報提供(生活情報誌, 外国図書, 新聞, 雑誌ほか) 多言語電話窓口相談(英語・中国語) 防災意識の啓発(防災ハンドブック配布, 出前講座開催ほか)
(一社)徳島市国際交流協会	談話室運営(Free Wifi, ケーブルテレビ) 生活用品貸出 情報提供(ニュースレター, 図書, 新聞) 外国人相談支援窓口の開設 語学講座(日本語・英語・仏語)の運営
小松島市国際交流協会	生活物資支援 日本語教室の運営(夜間開催) 国際交流みかん狩り 託児付き日本語教室の開催(インターナショナル子育てサークル ももたろう) 外国人向け和食料理教室
阿南市国際交流協会	留学生のホームステイ先を提供 阿南夏祭り参加 バス研修の誘い 日本語教室の開講 料理教室を開催
徳島ゾンタクラブ	留学生への生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	留学生への生活用品の提供

○留学生交流事業

平成28年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(公財) 徳島県国際交流協会	7月	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	8月	阿波おどり交流事業(あらしわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	9月	防災センター・スタディ・ツアー	在住外国人を対象に防災センターでの災害疑似体験、南海トラフ巨大地震をはじめとした防災意識啓発を図る。
	11~12月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	通年	国際理解支援講師派遣事業	在県外国人等を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
(一社) 徳島市国際交流協会	4月	さくらフォトウォークと焼きそばランチ	国際交流の集い(寺町界限等の桜の名所を写真撮影しながら散策、焼きそばパーティー)
	8月	真夏の夜のバーベキュー	国際交流の集い(バーベキューパーティー)
	8月	阿波踊り	国際交流の集い
	8月	TIAフットサルオリンピック徳島2016	国際交流の集い(フットサル大会)
	10月	剣山登山	国際交流の集い(西日本第二の高峰、剣山への登山にチャレンジ)
	10月	日本文化に親しむ会 和紙ちぎり絵ワークショップ	国際交流の集い(ちぎり絵教室)
	12月	年忘れボーリング大会	国際交流の集い
	2月	新春・国際交流パーティー	国際交流の集い(立食、各国演芸、のど自慢大会、ダンス、ビンゴゲーム)
	3月	日帰りバス遠足	国際交流の集い
小松島市国際交流協会	11月	国際交流みかん狩り	留学生と市民との交流(みかん狩り、交流パーティー)
阿南市国際交流協会	5月	通常総会・講演会	留学生及び在住外国人と市民の交流(世界をみた体験談)
	6月	天体観測(荒天のため中止)	火星大接近を那賀川科学センターで観測
	7月	あなん夏祭り	留学生たちと阿波踊りで参加
	9月	海外からの短期留学生受入	ホストファミリーとの交流・富岡東高校で学校生活体験
	10月	バス研修	留学生及び在住外国人と市民の交流(ラーメン発明記念館・エキスポシティ・ニフレル)
	11月	料理教室	留学生と市民の交流(料理を教わりながら交流)
	12月	餅つき会	施設の子ども達との交流
	1月	新年会	留学生とAIA会員との交流
北島町国際交流協会	3月	留学生表彰	卒業する留学生に賞状と記念品を贈呈
	5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
徳島ゾンタクラブ	11月	外国料理講習会	料理を通じての国際交流
	12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流

○留学生交流事業

平成28年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島大学	不定期	地域の小学校・高校訪問	留学生が地域の学校を訪問し、日本文化を共に学んだり日本語で自国の文化を紹介し、自国の遊びと一緒に学んだりする。また英語による同様の活動も実施している。
	10月	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生、日本人学生及び地域住民との交流会(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	11月	研修旅行	徳島の現在と伝統を日本人学生らとともに学ぶ。
	12月	日本文化体験	日本文化・企業見学旅行
	3月	外国人留学生の卒業・修了を祝う会	卒業・修了予定の留学生と教職員等との交流懇談会
鳴門教育大学	6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生、学部生、教職員との交流会
	6月	城西高校(国際交流活動)	生徒と留学生の国際交流
	7月	鳴門第二中学校(国際交流集会)	生徒と留学生の国際交流
	10月	イングリッシュ・キャンプ	鳴門市の小・中学生と留学生の交流
	6, 10, 12月	学外研修	日本の伝統、文化等の学習 留学生と本学ボランティア(日本人学生)との交流
	平成28年10月～平成29年1月	日本文化体験プログラム	日本文化(染色、歌、ちよんかけごま、大正琴、書道、折り紙、着付け、茶道)の体験
	平成28年10月～平成29年1月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	5月	留学生歓迎会	学生による留学生を歓迎する会
	随時	留学生面談会	生活及び進路相談、近況報告
	随時	イングリッシュ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に英会話で交流
	随時	チャイニーズ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に中国語で交流
	毎月	OASIS Meeting	留学生サポーターとの交流会
	8, 9月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学・研究用資料の収集等
	10月	ハロウィンJack-o'-Lantern作り隊	Jack-o'-Lanternを作りながら交流
	11月	留学報告会	今夏海外に留学した学生と留学生が報告し合い交流
	12月	クリスマスパーティ	クリスマスケーキのデコレーションを通じて交流
	1月	春節祭及び送別会	中国の正月について留学生と交流及び送別会
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	4月	新規入学留学生市内研修(春季)	徳島、香川キャンパスで受け入れている留学生、姉妹校からの春季受入交換留学生約21名に対し、徳島文化研修を実施 鳴門渦潮、霊山寺・大麻比古神社の見学、藍の館での藍染体験など
	5月	新入生歓迎懇談会	留学生及び国内離島等出身の学生に対し、学園理事長主催で、歓迎懇談会を開催し、新入生同士懇親を深めた。
	10月	新規入学留学生市内研修(秋季)	徳島、香川キャンパスで受け入れている留学生、姉妹校からの秋季受入交換留学生約12名に対し、徳島文化研修を実施 霊山寺・大麻比古神社の見学、城西高校での藍染講習、阿波踊り会館など
徳島工業短期大学	4月	留学生歓迎昼食会	留学生の来日を歓迎する会
	4月	研修旅行	留学生と日本人学生相互の交流(徳島市内)
	6, 9, 1月	留学生誕生日会	留学生の誕生日を祝う集い
	9月	研修旅行	留学生と日本人学生相互の交流(京都市内)
阿南工業高等専門学校	5月	研修旅行	留学生とチューターが共に日本の歴史・文化を体験する旅行(京都・奈良)
	6月	阿南市・阿南市国際交流協会と本校との懇談会	阿南市職員、阿南市国際交流協会役員と本校教職員・留学生との懇談会
	11月	阿南高専蒼阿祭	阿南高専の文化祭に参加
	12月	四国地区高専総合文化祭	国立高専四国総合文化祭に参加し、留学生コーナーで自国の地理や文化について紹介

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(公財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
(一社)徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)6377
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畷103-1 西野建設(株)内	0884(44)6652
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	阿南市富岡町今福寺49-2 河内順子様方	090-1573-4555
国際ソロプチミスト徳島	徳島市中洲町2-20-1 曾木光代様方	088(625)5654
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161

交流風景

(公財)徳島県国際交流協会



弁論大会



阿波おどり

(公財)徳島県国際交流協会



ホームステイ・ホームビジット

小松島市国際交流協会

みかん狩り



徳島ゾンタクラブ



インターナショナルナイト

鳴門教育大学



学外研修



日本文化体験プログラム

四国大学



湘潭大学留学生



サギノーバレー大学訪問団



サギノーバレー大学交換留学生

徳島文理大学



徳島文化研修



城西高校にて藍染め講習

徳島工業短期大学



留学生後援会歓迎昼食会



研修旅行(金閣寺)

阿南工業高等専門学校



学内寮で日本人学生との
交流会

阿南工業高等専門学校



那賀川公民館で地元の方との交流会

日和佐八幡神社秋祭りに参加

徳島大学



多文化体験交流会

徳島大学



多文化体験交流会



研修旅行(渦の道・大塚食品(株)徳島工場)



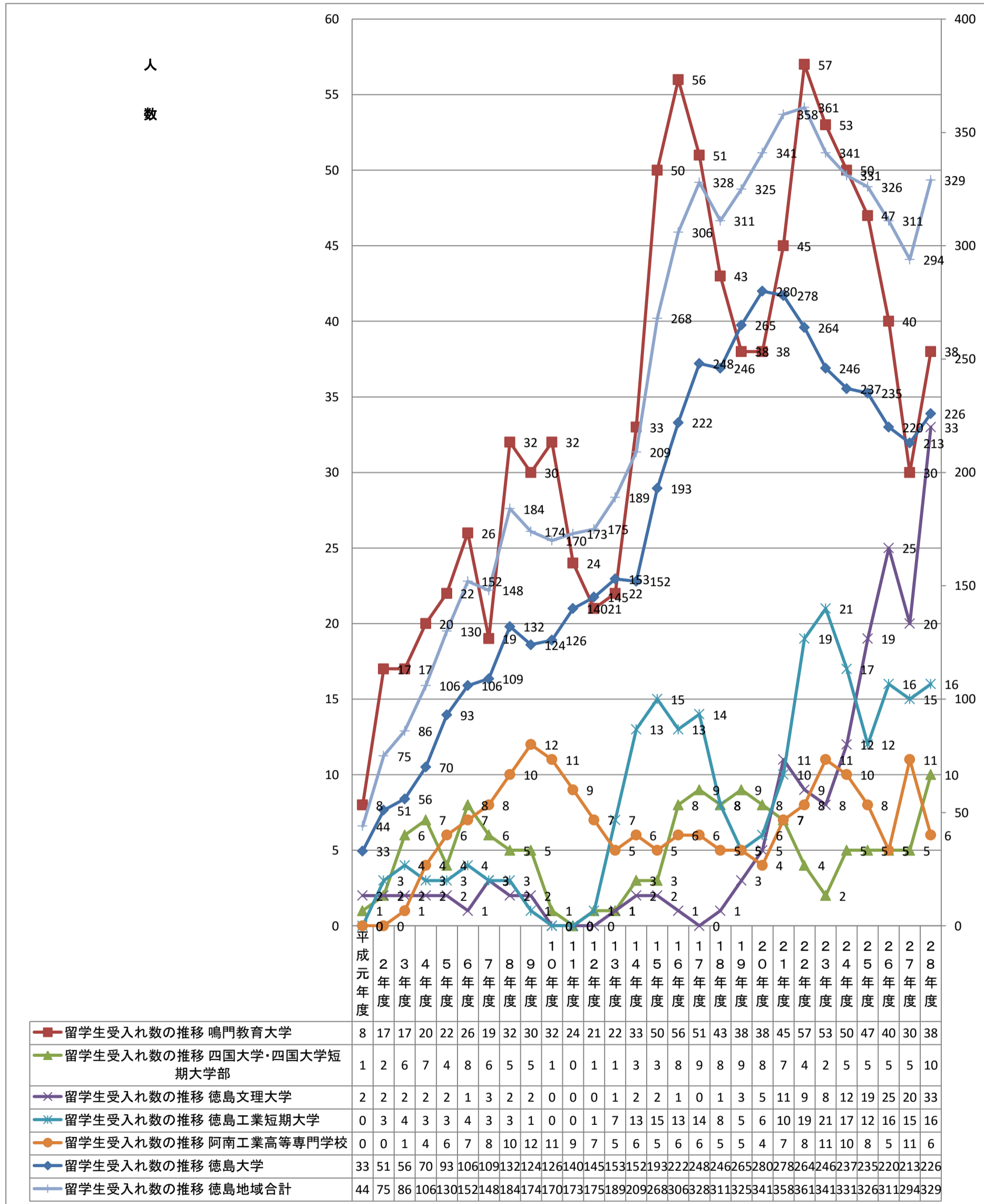
日本文化・企業見学旅行

: 伏見稲荷神社

: サントリー京都ビール工場

○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成28年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	108	23	9	5			2		147
	韓国	8			14					22
	台湾	12	1		11					24
	マレーシア	15							1	16
	インドネシア	5	2							7
	バングラデシュ	12								12
	ベトナム	11			2	1		14	1	29
	インド	5								5
	パキスタン	1								1
	モンゴル	21							1	22
	タイ		2						1	3
	スリランカ									0
	カンボジア								1	1
	フィリピン		1							1
	ラオス	1	1							2
中近東	シリア	1								1
ヨーロッパ	スウェーデン	4								4
	ポーランド	1								1
	フランス	2								2
	カザフスタン	1								1
	ドイツ								1	1
	ポルトガル				1					1
アフリカ	エジプト	6								6
	モザンビーク	1								1
	ナイジェリア	1								1
	モロッコ	1								1
	ケニア	1								1
	ルワンダ	1								1
	スーダン	1								1
	マラウイ	1								1
	ブルキナファソ		1							1
北米	カナダ	3								3
中南米	ブラジル		1							1
	メキシコ		1							1
大洋州	キリバス	1								1
	ソロモン諸島	1								1
	パプアニューギニア		3							3
	フィジー		1							1
	サモア		1							1
合計		226	38	9	33	1	0	16	6	329

私が感じた日本

鳴門教育大学

大学院学校教育科国際教育コース 2年

カ メイリン
華 明琳

中国



私は中国からの留学生、華明琳と申します。
2014年4月から研究生として鳴門教育大学での勉強を始め、今は大学院生として国際教育コースで勉強しています。

鳴門は静かで、とても優しいところです。鳴門教育大学は専門知識の勉強はもちろん充実していますが、留学生のための学外研修や日本文化の授業もたくさんあり、日本の文化に触れる機会を与えてくれてとても感謝しています。藍染の授業で自分の名前のあるタオルを作ったり、着物の授業で振袖も着たり、大正琴の授業でみんなと歌を弾いたりして、楽しい大学院生活を送ってきました。この大学院生活で感じたことを紹介したいと思います。

日本は真面目な国だと思います。学校で活動などがあるとき、いつもメールでお知らせしてくれるほか、留学生用のポストの中に紙に印刷したお知らせも入れてくれます。携帯の手続きをするときも、スタッフの人は丁寧に説明しながら、パンフレットにマークしてくれました。口での説明だけでなく、紙でもう一度確認してくれるので、日本人の方はとても真面目だと思い、その丁寧さに感謝しています。

また、日本はあいさつを大切にしている国だと思います。学生宿舎に住んでいますので、ほかの宿舎に住んでいる学生たちと時々会います。みんなは知り合いかどうかにも関わらず、宿舎であったら必ずあいさつします。これはとてもいいことだと思います。しかし、午後1時に会うとき、「おはようございます」と言われたり、夜に「こんにちは」と言われたりしたことがあり、いつも何を言ったらいいかを悩んでいます。

最後に、日本の文化はとても面白いです。京都に行ったら、着物を着ている人が普通に街を歩いています。もし中国で漢民族の服装を着て歩いたら、絶対見世物になってしまいますので、日本のそういう雰囲気はとても羨ましいと思っています。また、学外研修で忍者屋敷に行きました。忍者文化も興味深いです。見た目普通なお部屋は、実際はたくさんの仕組みがあります。それを見たら、そこに本当に忍者がいたと実感しました。

鳴門教育大学でたくさんの知識を勉強しました。それは授業で学ぶ知識だけで

なく、学外研修やたくさんの活動、そして普段の生活でも勉強しています。これからも勉強していきたいと思います。そして国に帰ったら、勉強した知識を生かし、日本のことをいろいろな人に教えたいと思います。



忘れないよ、徳島

四国大学

経営情報部経営情報学科 3年

チン セイブン

覃 静文

中国

今年の9月に、私は徳島に来ました。大学の皆さんはとても優しいので、私はすぐに徳島の生活に慣れました。

10月初めに、ずっと期待していた machi★asobi に参加しました。今回の machi★asobi で私はスタンプラリー「マチ★アソビレイシフト」に参加しました。会場の中に七つのスタンプラリーポイントがありました。私はその七つのポイントを全部巡って、スタンプを集めて「マスターライセンスカード」を獲得しました。本当に嬉しかったです。

日和佐の秋祭りも非常に印象的でした。通称「ちょうさ」と呼ばれる日和佐八幡神社秋季例祭は、一年の豊漁豊作を祝う氏子の祭りとして、美波町（日和佐）全体が参加するお祭りです。皆さんは力を合わせて太鼓屋台を担いでいて、壮観な光景でした。

11月の四国大学芳藍祭は私の学園祭初体験でした。すべてが新鮮で面白かったです。美しい茶道の所作、綺麗な藍染、感動的な踊り、すべてが特別な思い出になりました。普段は静かなクラスメイトも活発になりました。皆さんの青春の姿が忘れられません！

徳島で生活を始めて、もう2ヶ月が経ちました。この2ヶ月の間に、私は様々な活動に参加しました。「徳島に来て良かった。」と心から言いたいです。ここで過ごした時間を忘れません。

日本に来て、よかった

四国大学

文学部日本文学科 3年

コウ ミキ
高 美琦 中国



本当に早いです！もうそろそろ一年の留学生活が終わってしまいます。私にとって、今年は人生の中でとても特別な時間です。今までの20年の生活や考え方を大きく変えた一年、一生忘れられない一年です。もうすぐ帰るのは本当に寂しくて、悲しいです。3月26日に日本に到着した時、私は新しい生活を期待していました。その時は、これからどのような生活が始まるのかとちょっと不安でしたが、今振り返ってみると、本当に意義深い一年でした。

日本に来る前、日本のドラマできれいな桜を見ました。桜は暖かくて、ロマンチックで、甘美なイメージがあります。桜は日本の代表的な景色で、世界中で有名です。私の入学式の日にも綺麗な桜が咲いていて、本当に嬉しかったことを特に記憶しています。4月に皆さんと一緒に花見に行きました。とても印象深かったです。もう一度日本の桜を見たいと思います。

四国大学について私が一番好きなのは皆さんの優しさです。先生たちはいつも優しくしてくれます。授業だけでなく、私たちと一緒に遊びとか、食事とかに連れて行ってくれました。友達もいつもいろいろなことを教えてくれました。知らない人でも挨拶をしてくれます。そんな親切な人たちと会えたのは、この一年間で一番ラッキーな事だと思います。綺麗な景色と優しい人たちに、私はさらに日本に魅了されました。

私は徳島の阿波踊りにとても感動させられました。お盆の時には、普段と全然違う賑やかな徳島を見ることができました。私は日中連に参加して、皆さんと一緒に踊りました。大勢の人たちが笑顔で、音楽に合わせて踊るのを見て、とても感動しました。特別な体験をすることができたと思います。そう考えると、日本に来て、本当に良かったです！もし来てなかったら、皆さんの優しさを知ることができなかったし、日本は本当にどのような国なのかわからなかったし、自分が今までと違った生活の仕方ができることがわからなかったでしょう。

そして、春の桜、夏の蝉、秋の紅葉、信号の音、コンビニの音、先生が授業をしている姿、みんなの挨拶の笑顔を全て忘れることはできません。この一年間の

ことを全て覚えていたいと、とても強く思っています。私に優しくしてくれた皆さん、本当に心から感謝しています。



徳島での生活

徳島文理大学

大学院総合政策学研究科総合政策学専攻 1年

チン ボイ アン
TRINH BOI ANH

ベトナム

初めて徳島市に来たときは、「うわー！すごく静かで平和な町だな。」という印象を受けました。徳島市は田舎ですが、他県の都市へ出かける交通システムはかなり便利ですし、駅の周辺には、飲食店やショッピングモール、図書館などもあります。そして、大学から駅までは、自転車で約20分、バスで約15分で行くことができます。このように、徳島文理大学は、留学するにはとても良い環境にあると思います。

なお、私の故郷であるベトナムのホーチミン市と徳島市の一番大きな違いは、たぶん市民の「足」だと思います。皆さんもご存知のように、オートバイは、ホーチミン市のみならず、ベトナムの代表的な乗り物ですが、一方、徳島市の市民の主な乗り物は、車です。ですので、時々オートバイで走っている人を見る時、母国のことを思い出します。

私は、大学院で学んでいるため、ほとんどの授業は午後6時に始まります。午前中は、うどん屋さんでアルバイトをしています。アルバイトのおかげで、徳島県の名産品をたくさん知ることができました。例えば、「鳴門わかめ」、「すだち」、「ゆず酢」、「阿波尾鶏」などです。これらは、バイト先のうどん屋さんでよく使う商品です。

「阿波尾鶏」の言葉について、店長さんと面白い話を交わしたことがありますので、皆さんに紹介します。

ある日、店長さんは、「アンさん、あわおどりを食べたことがある？」と私に聞きました。私はその時、非常にビックリしました。そして、「あわおどりを、どうやって食べる？それはみんなが踊っているでしょう??」と答えました。店

長さんは笑いながら、「違う，違う，それは，あわおどり（阿波踊り）というダンスの名前！私が言ったのは，あわおどり（阿波尾鶏）という徳島の地鶏の名前だよ！」と。

「なるほど！日本語はやはり不思議なことばだな。」と，その時に思いました。

そして，日本料理だけではなく，スイーツも季節によって限定メニューが変わったりするので，ベトナムより豊富だと感じました。

徳島に暮らしてから間もなく2年になります。時が経つのは本当に早いですね。毎日，大学の先生たちとクラスメイトたちから，色んなことを教えてもらうなど，いつもお世話になっていて感謝しています。そして，徳島で快適に暮らし，たくさんの方のことを学んでいることを嬉しく，幸せに感じています。

徳島での私の留学生活

徳島工業短期大学
自動車工業学科 2年

ヴ チ ダイ
VU TRI DAI ベトナム



私は2013年10月，ベトナムから初めて日本に来て生活を始めました。

最初1年間，東京の日本語学校で日本語を勉強した。その後徳島に来ました。

まず日本に来て困ったことは，物価の高い上，日本円とベトナム・ドンとの為替レートの感覚がよく分からず，何をかえば安いのか高いのかよくわかりませんでした。しかしながら，日本にはベトナム人が割合に多く，それらの人々に教えてもらいながら買い物をしたことを覚えています。

しかし日本の本当に素晴らしいことは，道端にゴミが少なく店に清潔感があり，店員さんのお客に対するおもてなしの態度です。また，ショッピングセンターがどこにでもたくさんあり，秩序も安定して，本当に便利なことも感心しました。

徳島での留学生活は，我大学では留学生後援会があり，春と秋の遠足やお誕生会には，私達留学生の他に日本人学生，日本語サポーター，教職員の方々が大勢参加してくれました。徳島市内のアパートに住み，アシスト付き自転車を使用して通学したり，アルバイトに行く事により，自分の人生の中で色々かけがえのない貴重な経験となり非常に満足しています。

徳島に来て交通の不便さは感じましたが，徳島工業短期大学の先生と学生は優

しい方ばかりで、本当に温かい環境で勉強ができたことを感謝しています。徳島県の皆さんは親切で本当に厚く感謝しています。もちろん日本に来てから、私は孤独で辛かった時期もありました。でも、今は皆がそばにいてくれたので、一人で日本にいても寂しくありません。徳島県や板野町の皆さんに対して伝えきれないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。また私は就職して他の地へ行きますが、徳島市国際交流協会のツアーで行った時の、紅葉が綺麗な祖谷山の景色や、しとやかで情熱的な阿波踊りを阿波おどり会館で踊った事を思い出しながら、皆さんとの事を色々と思い出す事でしょう。皆さん大変お世話になり有難う御座いました。皆様方のご健康と徳島県の益々の発展を祈る次第です。



私の夢

阿南工業高等専門学校
電気電子工学科 5年

カエムラボット チュオ
KHEMARAKBOTH CHHOU

カンボジア

私が工学の道を選んだ最終的な目標は、”自分の関わったプロジェクトが日常生活の役に立つ”ことです。私は子供のころから宇宙に関する事に非常に関心を持っていました。この「宇宙」と「日常生活に役に立つ」というキーワードから考えて辿り着いたのは人工衛星でした。

私は高専に入って、勉強だけでなく高専生らしい生活を送るため、この3年間ものづくりに取り組んできました。3年生のときには1年間ロボット部で活躍しました。もともと機構について学びたかったのですが、ロボット部では電気回路に魅力を感じ、特にマイコンについて勉強しました。マイコンは調べれば調べるほど日常生活の至るところで使われているのを知り、その必要性と可能性に関心を持ちました。とくに、2013年に国際宇宙ステーションから放出された超小型人工衛星 ArduSat をニュースで見たときでした。この超小型人工衛星に搭載するマイコンは、私がロボットで使っているマイコンとそっくりでした。これを見て自分がやっていることは宇宙にもつながるのだと知り、人工衛星の開発に取り組もうと決心しました。また、ロボット部で学んだ電気回路の知識は現在の高専卒業研究にもいかすことができます。

私は来年の4月に電通大に編入学する予定です。電通大では情報通信工学科を専攻し、超小型人工衛星について研究したいと考えています。大学を卒業してから、実際の人工衛星開発に携わる企業に就職し、もっと経験を積み上げてから帰国したいと考えています。私の住んでいるカンボジアは農業国のため、収穫に影響を与える天候はとても重要なものです。これからのカンボジアと東南アジアの地域全体では、通信と放送の分野あるいは気象観測分野において、人工衛星の必要性はますます増えるでしょう。私の歩んだ道がカンボジアの発展につながると期待しています。

留学生活で感じたこと

徳島大学

総合科学教育部博士前期課程2年

ショウ ユウ
肖 友 中国



日本へ来る前に、周りの人に「留学生活はあなたが思うほど容易ではないから、覚悟して行きなさい!」と言われた。一体どのくらい辛いのだろうかと思いつつ、日本に来た。最初に留学生活の大変さを味わったのは、日本に来てから半年後だった。生活費の足しにするため、アルバイトを探し始めた。日本語科出身の私にとって日本語が話せることは、唯一の長所だと思っていた。でも、思うように話せない、経験が全くない、日本でのバイトの応募のマナーも一切わからない、そんな状態だった。電話で断われたり、面接後何も知らせてくれなかったりということもあった。日本人に聞いて初めて、「不採用の場合、電話はかかってこない」という文化を知った。アルバイトを探すことは、想像以上に難しく、辛いことだった。二週間くらい探して、やっと居酒屋でのアルバイトが決まった。聞き慣れない方言が飛んできてミスをしてしまい、店長に怒られた。そのとき、なぜわざわざ日本に来て大変な留学生活をするのかと、自分自身に何回も聞いた。しかし、お客さんの「がんばってね!」の一言に励まされ、再び元気を出し、「やはり日本に来てよかった!」と思うようになった。

確かに留学生活は辛い面もあるが、楽しいこともたくさんある。徳島に来て

から出会った日本人は、みんないい人たちだった。指導してくださる先生は私の第二の家族のような存在で、困ったことがあるときも、うれしいことがあるときも、いつもでも遠慮なく話すことができ、また適切なアドバイスをしてくれる。アルバイト先のみんなも優しい人たちばかりだ。仕事の内容がわからないとき、親切にいろいろ教えてくれた。私の誕生日に店のスタッフがお祝いのケーキを作ってくれて、みんなで盛り上がった。今、日本での就職が決まって、社会人になることを楽しみにしている。一人前の社会人になるまでには様々な困難があると思うが、「初心、忘れるべからず」、そして「やりたいことを最後までやり続ける」を常に心がけてがんばっていききたい。

充実した留学生活があと3ヶ月で終わる。今まで経験したことや出会った人たちは、私にとってかけがえのない、最高の宝物だ。これからもこの宝物を胸に抱いて生きていきたい。

私と徳島、そして日本での生活



徳島大学

先端技術科学教育部博士後期課程2年

リュウ ジンソク
柳 振錫 韓国

私が生まれ育った蔚山は、釜山から北にバスで約50分のところにある工業都市です。この都市の主要産業は自動車、造船、そして化学精油です。徳島近郊にある工場施設を見ると、故郷の景色が思い浮かびます。海に向かって流れる吉野川の様子は韓国の地元と同じような景色ですが、広い川幅の吉野川を初めて見たときは海だと思いました。吉野川の近くには山が少ないので、地面と空が近くに見えてとてもいい景色だと感じています。風景の写真を撮るのが好きなので、今年買った原付に乗って、徳島のいろいろなところに行って写真を撮っています。鳴門大橋の渦潮、眉山公園の夜景、大歩危・祖谷溪のかずら橋、そして上勝町の山道はとても素敵なおとこでした。余裕があれば、四国八十八箇所のお遍路をしたいと思っています。

先月、バスで大阪に行ってきました。隣の席の男性から「どこから来たの？」と聞かれたので、「徳島から来ました」と答えてしまいました。国の出身を聞いて

ていると分かり、「韓国から来ました」と言い直しました。兵役を除くとずっと蔚山で暮らしていたので、外国での一人暮らしの生活は少し心配でした。でも、驚くほど早く徳島になじんでいる自分を、私自身とても驚いています。私の苗字の「柳」は日本でも使えるようで、振り仮名を明記していないと「ヤナギさん」とよく言われます。「ヤナギさん」と言われるたびに、外国から来た人ではなく日本人として暮らしている感じがします。

私は日本で就職して、そのまま日本の生活を続けたいと思っています。今まで日本でお世話になった方々に、心から感謝の気持ちを伝えたいです。日本での生活に早く適応できたのも、皆さまのおかげだと信じています。そして、いろいろな人と出会い様々な経験ができる未来を想像すると、今からとても楽しみです。これからも、よろしく申し上げます。